



特集

こんな町に住みたい！
～みんなでまちづくり交流会～

夜空を焦がす祈りの炎

1月30日、望山公民館でおさいとうがおこなわれました。おさいとうは小正月の代表的な行事で、正月のお飾りやお札などを御神木とともに燃やして、1年の豊作を祈ります。この日は望山地区の皆さんのほか美郷地区の子ども会も参加し、燃え盛る炎を見守りました。

平成28年

2

No.660

大江町長選挙

投票日は2月21日(日)

投票時間／午前7時～午後8時

期日前投票／2月17日(水)～20日(土)

午前8時30分～午後8時

投票時間について

午前7時から午後8時までです。

ただし、次の投票区は繰り上げになりますのでご注意ください。

◇2時間繰り上げ(午前7時～午後6時)

・第5投票区(用)

・第15投票区(貫見)

・第16投票区(沢口)

・第17投票区(柳川)

◇1時間繰り上げ(午前7時～午後7時)

・第13投票区(十八才)

・第14投票区(月布)

投票できる方

大江町選挙人名簿に登録されている

る次の要件を満たす方。

①平成8年2月22日までに生まれた20歳に達する方

②平成27年11月15日以降、引き続き町内に住所を有する方

転入・転出された方の投票について

平成27年11月15日までに転入された方は投票できます。

平成28年2月21日までに町外に転出される方は投票できません。

町内で転居された方の投票について

平成27年2月15日以降、町内の他

任期満了に伴う大江町長選挙が、2月16日告示、2月21日投開票の日程でおこなわれる予定です。

町長選挙は、次代の町政を担う代表者を選ぶ最も身近な選挙です。これから町がどんな方向に進むべきか、町民の皆さんの考えを町政に反映させる大切な機会でもあります。貴重な一票を、自分の意志で投票しましょう。



《参考》 選挙人名簿登録者数 (単位：人)

投票所	男	女	計
第1 左沢	1,098	1,151	2,249
第2 藤田	360	435	795
第3 小見	257	282	539
第4 富沢	83	87	170
第5 用	24	26	50
第6 深沢	137	133	270
第7 伏熊	98	78	176
第8 小漆川	501	489	990
第9 諏訪原	389	405	794
第10 荻野	94	93	187
第11 顔好	97	104	201
第12 塩野平	65	69	134
第13 十八才	93	92	185
第14 月布	88	83	171
第15 貫見	81	73	154
第16 沢口	30	28	58
第17 柳川	32	36	68
第18 木の沢	89	101	190
合計	3,616	3,765	7,381

平成27年12月1日基準日で作成しています。
最終の有権者数は選挙前日に確定します。



山形県選挙啓発ポスターコンクール
高校生の部 特選

白田小夏さん(左沢高校2年)の作品

の投票区に転居された方は、転居前の投票区投票所で投票してください。

投票所入場券、選挙公報の発行

投票所には、投票所入場券を忘れずにお持ちください。投票所入場券は、2月16日以降に郵送により各世帯へ配布します。届いたらすぐに内容をご確認ください。もし誤りなどがありましたら、お手数ですが選挙管理委員会までご連絡ください。

また、候補者の政見を記載した選挙公報を2月17日以降に配布します。

期日前投票について

投票日に仕事や冠婚葬祭などの予定がある方や、レジャーや買い物などで投票日に投票区にいない方でも簡単な手続きで期日前投票ができます。

◇期間／2月17日(水)～2月20日(土)

◇時間／午前8時30分～午後8時

◇場所／役場102会議室(1階)

※投票所入場券(ハガキ)を持参してください(紛失されたときやまだお手元に届いていないときは受付に申し出てください)。

不在者投票について

指定施設(病院など)や町外の滞

在地などにおける不在者投票は、期日前投票と同じ期間に実施します。詳しくは、指定施設(病院など)や選挙管理委員会にお問い合わせください。

開票について

開票は、2月21日(日)午後9時から東地区公民館ホールでおこないます。町内の選挙権を有する方は参観できます。

※選挙に関するお問い合わせは、大江町選挙管理委員会 ☎(62)2111 まで

大江町長選挙立候補予定者による

公開討論会開催

◆日時／2月14日(日)
午後2時～4時(午後1時30分開場)

◆場所／東地区公民館

◆参加資格／大江町民 先着400名

◆参加費／無料

※お問い合わせは、主催者事務局(公益社団法人寒河江青年会議所) ☎84-8881まで

こんな町に住みたい！

～みんなでまちづくり交流会～

「こういう施設があったら楽しいだろうな」「こういう場所だったら、もっとたくさんの人が来てくれるんじゃないかな」そんなふうに、理想の町の姿をあれこれ思い描いたことはないでしょうか。近い将来、もしかしたらそれは現実のものになるかもしれません。そのカギのひとつといえるのが、今は使われなくなった左沢内町・横町通りの旧銀行の建物です。

学生たちの探究心と、町民の皆さんのアイデアが今ここに結集。町の経済活動を支えていたかつての銀行が、新しい姿で目覚めようとしています。

旧きらやか銀行大江支店

秘められた可能性

国の重要な文化的景観に選定された町並みのひとつ、左沢内町・横町通り。城下町の面影をしのぼせる木造建築が立ち並ぶ中に、鉄筋コンクリート2階建ての建物が静かにたたずんでいます。旧きらやか銀行大江支店——商店街の、そして町全体の活性化の切り札として、今注目されている建造物です。

この建物に関わる歴史は、今から118年前、明治31年に始まります。羽前長崎銀行の左沢出張所がこの年に設置され、左沢支店が置かれました。しかし昭和11年に起こった大火によって、当時の店舗は全焼。その後今の建物が建造され、平成まで銀行として役割を担ってきました。

平成19年にはきらやか銀行が誕生し、きらやか銀行大江支店となりました。ところが翌年には、同銀行の左沢支店に統合されることになり、大江支店は閉鎖。中央通り商店街で唯一、戦前に建てられて今に残る鉄筋コンクリート造であり、歴史的な町並みを形成する重要な建造物でありながら、空き店舗としてそのたたずまいを残すのみとなってしまいました。



旧きらやか銀行大江支店の歴史

（年号）	（できごと）
明治31年	羽前長崎銀行左沢出張所が設置される
昭和11年	大火で羽前長崎銀行が全焼。その後再建される
昭和23年	羽前長崎銀行が両羽銀行（後の山形銀行）に買収される
昭和25年	左沢町が旧羽前長崎銀行を自治体警察の庁舎として買収し、改修をおこなう
昭和29年	山形相互銀行が旧左沢自治体警察庁舎を左沢町から買収し、左沢支店とする
平成元年	山形相互銀行が山形しあわせ銀行と改称する
平成19年	山形しあわせ銀行と殖産銀行が合併しきらやか銀行が誕生。きらやか銀行大江支店となる
平成20年	きらやか銀行大江支店が閉鎖される
平成25年	旧きらやか銀行大江支店が大江町に寄贈される

芸工大生 × 町民



第1回まちづくり交流会 「大江町の今を知ろう！」 in 役場大会議室



基礎調査&
ヒアリング

魅力

- ①豊かな自然
- ②商店街がある
- ③距離がちょうどいい
- ④人柄・人情

課題

- ①担い手不足
- ②買い物が大変
- ③地区同士のつながりが希薄

調査結果から見た
大江町の魅力と課題

①
さまざまな
年代・地域のひとが
気軽に交流できる場

②
大江町の魅力を
生かした場

旧銀行店舗の役割

した。

しかし、平成25年12月にこの建物が町に寄贈され、転機が訪れます。町の所有となったことで建物を保存していく目途が立ち、重要な文化的景観の構成要素に追加するための調査が実施されました。その結果、今後建物を残していくためには耐震補強工事が必要になることが明らかになりました。

町の歴史に1ページを刻んだ、昭和初期の建物のレトロな雰囲気を残しつつ、これからのまちづくりに生かす拠点にできないだろうか。かつての銀行が生まれ変わるための、さまざまな可能性を探る試みがスタートしました。

**まちのこれからを
考える会が始まる**

みんなが楽しく利用できて、地域や町全体がより活性化できるような施設にしていくためには、町民の皆さんから幅広く意見を出していただく必要があります。また、若い世代の視点、さらには他の自治体の事例や外部からの視点を取り入れることも重要です。

そこで、建物利活用のための基礎調査やワークショップの開催につい

て、東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科の岡崎エミ准教授と、学生の皆さんに協力していただくことになりました。コミュニケーションデザイン学科は平成26年に新設された学科で、地域の課題を解決するために住民をサポートする能力を養うことを目的としています。学生たちは、県内各地で実際に地域に入って活動をおこなっています。

本町で学生たちがまずおこなったのは、町の歴史や現状についてデータを収集する基礎調査と、町民の皆さんに直接会って話を聞くヒアリング調査です。左沢の商店主や各種団体、本郷・七軒地区で活動をしている方など、6月から9月にかけて87人の方々にヒアリングを実施。これによって、それぞれの地域の特色や抱えている課題などが浮かび上がってきました。

10月8日、学生たちが自分の足で調べて分析した「大江町の今」を、町民の皆さんに発表する場が設けられました。第1回目となる「みんながまちづくり交流会」です。この日は約50名の方が参加。学生たちの目から見た町の現状について、そして旧銀行店舗のこれからの活用方法について、活発な意見交換がおこなわ



理想の大江町について考える、第2回目の交流会。参加者は8つのグループに分かれ、3つのステップで話し合いを進めました。みんなの描く理想像が、模造紙に次々と書き出されていきます。最後に、それぞれのグループで出たビジョンを発表しました。



- ①大切なもの・未来に残したいものは？
- ②取り入れたいもの・変えたいものは？
- ③理想の大江町は、どんなまち？

ワークショップから見えた5つのビジョン

- ①未来につながるまち
- ②自分でできることは自分たちでやるまち
- ③自分らしく生きられるまち
- ④多様なつながりを持つまち
- ⑤〇〇なら大江！といえるまち

「私たちはどんなまちに住みたいだろうか」

目標

手段

「旧銀行店舗の利活用方法を考えよう」



第3回・第4回まちづくり交流会では、第2回でまとまった5つのビジョンに沿って利活用のアイデアを出しあい、さらに平面図を使用して、どの場所でのんごなことをするか、間取りを作成しました。

第5回交流会では、アイデアの実現のためにより具体的な運営方法を話し合いました。

「自分らしく生きられるまち」グループのアイデア

1階は、日中はカフェ、夜はバーとして「くつろげる空間」に。観光案内所も設けて、情報発信の基地としても活用。
2階は「みんなの空間」。広いスペースを生かしてギャラリーやコンサート、パブリックビューイングもできるフロアに。



第3回交流会ゲスト



風間 教司さん

栃木県鹿沼市を中心に、空き家を活用した起業支援などをされています。

11月12日のまちづくり交流会では、風間さんが空き家を利用して開業したカフェ「日光珈琲」を紹介。まちづくりのポイントを教えてくださいました。

理想のまちへ 近づくために

皆さんのお考えをまとめた結果、「旧銀行店舗をどのように生かすか」という方向性は、大きく分けて2つ。「さまざまな年代・地域の人が気軽に交流できる場」「大江町の魅力を生かした場」となりました。

まちづくり交流会を通して目指すものは、町民の皆さんが思い描く理想の町の姿です。旧銀行店舗の利活用案を考えるのは、「将来、こんな大江町になってほしい」という想像図を現実にするための手段にほかなりません。第2回まちづくり交流会のテーマは、目標となる「みんなが住みたいまち」のビジョンを明確にすることでした。

8つのグループに分かれての話し合いの中で、未来に残しておきたいものとして町の伝統文化や景観、人と人とのつながりや助け合いの精神などが挙げられました。一方、新たに取り入れたいものや変えたいものとしては、子どもや若い世代が暮らしやすい環境づくりや、観光客をもてなす体制、自然や景観など恵まれた資源の有効活用などが必要だとす

銀行店舗から交流と情報発信の拠点へ！

1階

町の魅力を内外に発信する案内所

特産品などの展示スペース

薪ストーブの暖炉を囲んで交流できるカフェ

料理教室や食事会、2階全体を使えば大人数でのパーティーも可能

2階

コンサートやセミナーなど、さまざまなイベントを開催できます



これまでのまちづくり交流会で集まったアイデアをまとめた図面。内外の交流の拠点としてどのように運営していくのか、これからの検討課題です。



東北芸術工科大学
岡崎工ミ 准教授

新しい「つながり」を生み出す発信地に

「旧銀行店舗の利活用方法で、一番多かった意見が『カフェ』です。この結果には、より多くの人たちと交流したいという参加者の皆さんの望みが表れていると思います。

かつて左沢・本郷・七軒の3地区の間、そして町外とは舟運でつながっていました。生まれ変わった旧銀行店舗は、それに代わる新しいつながりをもたらし、みんなが町を自慢できるような場所になっていくのではないのでしょうか」

生まれ変わる銀行 実現への道のり

年が明けて1月21日。5回のまちづくり交流会を経てひとつの形にまとめられた旧銀行店舗のレイアウト案が、芸工大の学生たちによって東地区公民館で披露されました。

入口を開けてすぐ目の前に広がる1階の営業室は、広々としたカフェに変身。一人でくつろぐことも、大

る意見が出されました。これらを踏まえて、皆さんの考える町の将来像について話し合われ、発表された皆さんの意見が大きく5つのビジョンにまとめられました。

そして、このビジョンに近づくための旧銀行店舗の利活用方法を考えるまちづくり交流会が、11月12日から3回にわたって開催。「自分たちが物を作る」「誰でも気軽に入れる」「情報発信の拠点に」「ライブや映画鑑賞ができるように」……限りなく湧き出てくるアイデアを、建物内の空間にどのようにして収めていくか、誰がどのようにしてそれをこなすか。付箋紙や平面図を使った話し合いを重ねるごとに、空っぽだった建物の内部が、具体化されたイメージで徐々に塗り替えられていきました。

人数で盛り上がることも、カウンターで店員との会話を楽しむことも可能です。入口の横には「観光コンシェルジュ」がいる観光案内所。初めて訪れた観光客にも、町の魅力を存分に知っていただくことができます。

2階へ上がると、さまざまな用途に使えるレンタルスペースが待っています。もともとホールだったこの場所は、ライブやパーティー、展覧会など、利用者のアイデア次第でどんなことでもできる、無限の可能性を持った空間です。また、食事会や料理教室などを開けるレンタルキッチンもあります。

まちづくり交流会に参加者した皆さんのイメージは、こうしてひとつの図面にまとめられました。「もつとたくさんの人たちと交流したい」「自分の住む町に誇りを持ちたい」そうした強い思いが、色濃く表れたレイアウトだといえます。

しかし、旧銀行店舗の新しい姿は、これで決定したわけではありません。今後は参加者が4つのチームに分かれて実際の運営方法などについて検討を重ね、設計者に委託して最終的な設計図ができあがります。レトロな建物を中心としたまちづくりは、まだ始まったばかりなのです。

●●各会計の決算状況●●

平成26年度

決算報告

平成26年度の一般会計と各特別会計の決算が12月定例議会で認定されました。一般会計と7つの特別会計の総額は、歳入が81億3,118万7,628円、歳出が77億2,145万9,086円となりました。その概要をお知らせします。

一般会計

歳入総額		55億8,308万円		歳出総額		53億1,846万円	
町税	7億8,036万円	議会費	8,999万円	総務費	9億5,984万円	民生費	10億7,505万円
町税の内訳		衛生費	2億1,644万円	労働費	854万円	農林水産業費	3億6,886万円
固定資産税	3億5,843万円	農工商費	1億8,830万円	土木費	6億8,990万円	消防費	2億5,755万円
町民税	3億3,253万円	教育費	5億4,549万円	災害復旧費	2億9,192万円	公債費	5億9,089万円
町たばこ税	4,706万円	諸支出金	3,569万円				
軽自動車税	2,305万円						
都市計画税	1,880万円						
入湯税	49万円						
地方譲与税	5,738万円						
利子割交付金	158万円						
配当割交付金	344万円						
株式等譲渡所得割交付金	187万円						
地方消費税交付金	8,853万円						
自動車取得税交付金	790万円						
地方特例交付金	337万円						
地方交付税	23億1,920万円						
交通安全対策特別交付金	105万円						
分担金及び負担金	374万円						
使用料及び手数料	7,732万円						
国庫支出金	6億862万円						
県支出金	4億3,456万円						
財産収入	1,242万円						
寄付金	302万円						
繰入金	2億938万円						
繰越金	3億8,065万円						
諸収入	6,959万円						
町債	5億1,910万円						

町の財産状況

土地	1,453,663㎡
建物(延床面積)	56,740㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	206,113m
車輛	81台
有価証券など	7,131万円
積立金(基金)	21億1,569万円
温泉権(4件)	3億4,693万円

※すべての会計の合計。車輛には除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれます。

特別会計

歳入総額		25億4,811万円		歳出総額		24億300万円	
国民健康保険特別会計	9億6,288万円	国民健康保険特別会計	8億7,911万円	後期高齢者医療特別会計	9,374万円	介護保険特別会計	9億8,962万円
後期高齢者医療特別会計	9,567万円	介護保険特別会計	9億8,962万円	宅地造成事業特別会計	1億2,875万円	簡易水道事業特別会計	804万円
介護保険特別会計	10億4,162万円	宅地造成事業特別会計	1億2,875万円	簡易水道事業特別会計	804万円	公共下水道事業特別会計	2億6,104万円
宅地造成事業特別会計	1億2,899万円	簡易水道事業特別会計	957万円	公共下水道事業特別会計	2億6,104万円	農業集落排水事業特別会計	4,270万円
簡易水道事業特別会計	957万円	公共下水道事業特別会計	2億6,581万円	農業集落排水事業特別会計	4,270万円		
公共下水道事業特別会計	2億6,581万円						
農業集落排水事業特別会計	4,357万円						

水道事業会計

収入総額		3億7,429万円		支出総額		4億4,566万円	
収益的収入	2億4,684万円	収益的支出	2億4,787万円	資本的収入	1億2,745万円	資本的支出	1億9,779万円
資本的収入	1億2,745万円						

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、当年度損益勘定留保資金で補てん

一般会計の主な増減

単位：万円、%

歳入総額	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率	歳出総額 (性質別)	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
	55億8,308	53億9,639	1億8,669	3.5		53億1,846	50億1,573	3億273	6.0
町税	7億8,036	8億610	△2,574	△3.2	人件費	8億6,919	9億1,641	△4,722	△5.2
地方交付税	23億1,920	24億3,710	△1億1,790	△4.8	扶助費	4億9,784	4億5,963	3,821	8.3
国庫支出金	6億862	5億3,159	7,703	14.5	補助費等	4億7,562	4億9,527	△1,965	△4.0
県支出金	4億3,456	3億9,147	4,309	11.0	公債費	5億9,089	6億3,204	△4,115	△6.5
繰入金	2億938	1億7,529	3,409	19.4	繰出金	5億6,525	5億5,966	559	1.0
町債	5億1,910	4億3,560	8,350	19.2	普通建設事業費	9億379	8億130	1億249	12.8

決算規模は、歳入が55億8,308万円(3.5%の増)、歳出は、53億1,846万円(6.0%の増)となりました。前年度比較で増となった主な要因は、歳入は町税や地方交付税が減少した一方で、国庫支出金や町債が増加したため、全体では増となっています。また、歳出は補助災害復旧事業や町道改良事業、健康温泉館改修事業などの投資的経費が大きく増加したことが要因となっています。

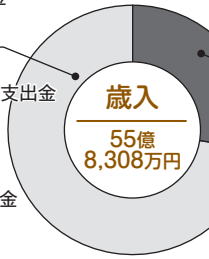
収支決算（一般会計）

依存財源

国・県から交付されたり、借り入れられたりしたお金

72.5%

- 40億4,660万円
- 地方交付税 ●国庫支出金
- 町債 ●県支出金
- 地方譲与税
- 地方消費税交付金
- 自動車取得税交付金
- 地方特例交付金
- 利子割交付金
- 交通安全対策特別交付金
- 配当割交付金
- 株式譲渡所得割交付金



自主財源

町が自主的に収入できるお金

27.5%

- 15億3,648万円
- 町税 ●繰入金 ●繰越金
- 使用料及び手数料
- 諸収入 ●財産収入
- 寄付金
- 分担金及び負担金

その他の経費

39.5%

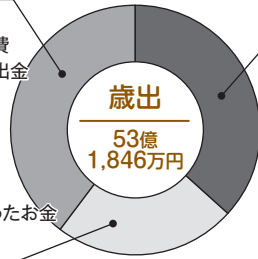
- 21億240万円
- 補助費等 ●物件費
- 維持補修費 ●繰出金
- 積立金 ●その他

義務的経費

支出が義務付けられているお金

36.8%

- 19億5,792万円
- 公債費
- 人件費
- 扶助費



投資的経費

建設工事などに使ったお金

23.7%

- 12億5,814万円
- 普通建設事業費
- 災害復旧事業費

主な財政指標の推移（一般会計決算に基づくもの）

区分	24年度	25年度	26年度
財政力指数	0.26	0.26	0.27
経常収支比率	86.0%	85.1%	85.6%
公債費負担比率	16.6%	15.1%	14.8%

一般会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

区分	24年度末	25年度末	26年度末
発行（借入）額	5億4,980	4億3,560	5億1,910
元金償還（返済）額	6億1,135	5億7,431	5億4,110
年度末残高	47億9,201	46億5,330	46億3,129

※**財政力指数**とは、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3か年平均値です。自治体の財政力を示す指数として用いられ、数字が大きければ大きいほど財政的に豊かであるといえます。

※**経常収支比率**とは、町税や普通交付税などの使途を特定されない経常的な一般財源収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経常的に支出されるお金の割合がどのくらいになっているかを示す値です。この値が大きくなればなるほど自由に使えるお金が少ないということになります。

※**公債費負担比率**とは、公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標です。この値が大きくなると、一般財源の使い道が制約されていることとなります。

各特別会計の町債（借入金）年度末残高の推移

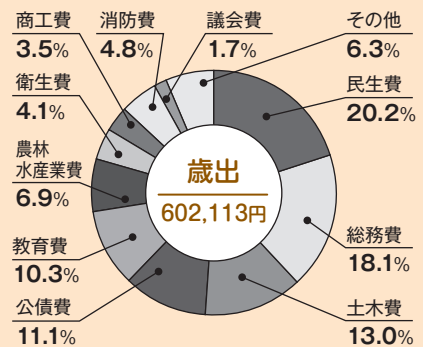
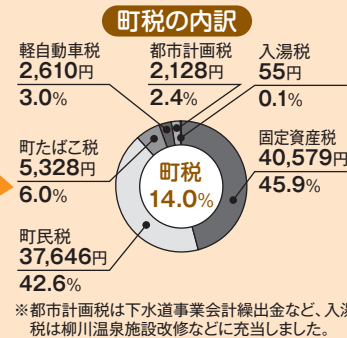
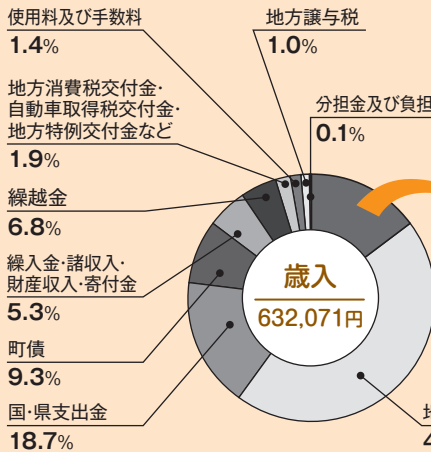
単位：万円

会計区分	24年度末	25年度末	26年度末
宅地造成事業特別会計	0	0	0
簡易水道事業特別会計	225	195	187
公共下水道事業特別会計	23億1,166	22億2,895	21億3,613
農業集落排水事業特別会計	3億1,455	2億9,455	2億7,652
水道事業会計	6億7,510	6億5,748	7億2,178
合計	33億356	31億8,293	31億3,630

町民一人当たりの歳入と歳出

町の人口 / 8,833人

(平成27年3月31日現在・住民基本台帳人口)



歳入 632,071円	
町税	皆さんから納めていただいた税金 88,346円
地方交付税	団体間の財源の不均衡を調整するため、国税として国が代わって徴収し、分配されたお金 262,561円
国・県支出金	町の事業に対し、国や県から交付されたお金 118,100円
町債	国や金融機関から借りましたお金 58,768円
繰入金・諸収入・財産収入・寄付金	基金を取り崩したお金、町有地などを売却して得たお金、寄附をいただいたお金など 33,331円
繰越金	前年度から繰り越されたお金 43,094円
地方消費税交付金・自動車取得税交付金など	消費税の一部、自動車取得税の一部として県から交付されたお金など 12,198円
使用料及び手数料	施設や保育所の使用料、住民票をとるときの手数料など 8,754円
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金 6,496円
分担金及び負担金	施設の入所費用など特定の利益を受ける方に負担していただいたお金 423円
町民一人あたりの町債残高（一般会計） 524,317円	

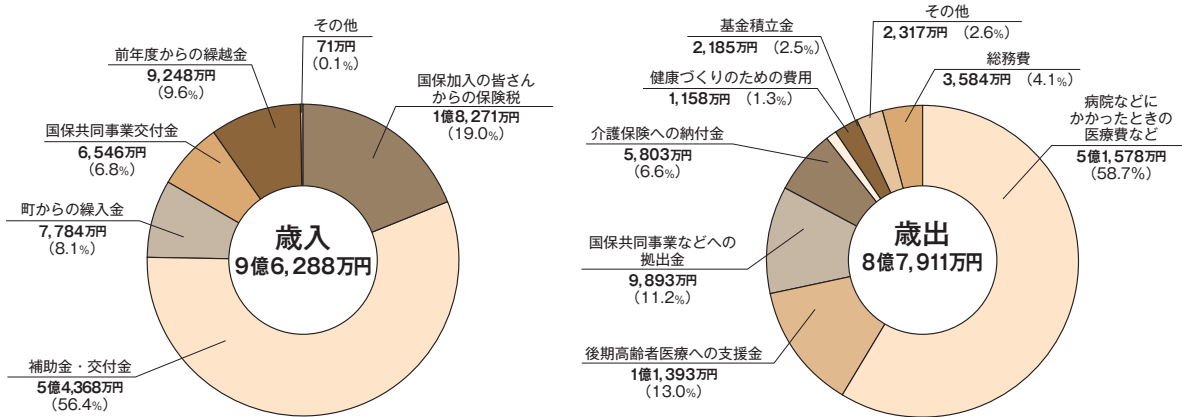
歳出 602,113円	
民生費	高齢者、障害者、児童など福祉の費用 121,708円
総務費	地域振興や徴税、戸籍、選挙などの費用 108,665円
土木費	道路、河川、公園の整備などの費用 78,105円
公債費	国や金融機関から借りましたお金の返済費用 66,896円
教育費	小・中学校や生涯学習、体育振興などの費用 61,756円
農林水産業費	農業や林業の振興、土地改良事業などの費用 41,759円
消防費	消防や消火栓の整備などの費用 29,158円
衛生費	保健衛生やごみ処理などの費用 24,504円
商工費	商工業の振興や各種観光イベントなどの費用 21,318円
議会費	議会の費用 10,188円
その他	労働者に対する金融対策などの費用ほか 38,056円

平成26年度の 国民健康保険事業の 運営状況をお知らせします



国民健康保険は、病気やケガをしたときに安心して医療を受けることができるよう、加入者であるみなさんが国民健康保険税を出し合い、お互いを助け合う制度です。

1. 平成26年度国民健康保険特別会計決算の状況



平成26年度の決算は、歳入歳出差引では8,377万円の黒字（下表③）となり、前年度からの繰越金や翌年度精算金、基金の増減の影響を含めた実質的な収支も2,332万円の黒字（下表⑦）となりました。

歳入の総額は、9億6,288万円で、このうち19.0%にあたる1億8,271万円が加入者の皆さんからの保険税です。収納額は、昨年度と比較し被保険者数の減少や国保税の軽減措置が拡大されたことなどで1,312万円減少しましたが、歳入全体の56.4%を占める国や県などの補助金・交付金は、486万円増の5億4,368万円となっております。

一方、歳出の総額は、8億7,911万円となりました。歳出に占める割合が最も大きいのが、病院などにかかったときの医療費で歳出全体の58.7%となっています。近年は、高齢化や医療技術の高度化などにより一人あたりの医療費は増加していますが、被保険者数の減少やジェネリック医薬品の利用、特定健診による病気の早期発見・早期治療などにより前年度より2,304万円減の5億1,578万円となりました。また、国保共同事業などへの拠出金は1,157万円増の9,893万円となっています。

また、年度末の基金残高は、前年度末と比べて2,185万円増加の1億5,647万円（下表⑧）となりました。

○決算額の推移

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①歳入総額	8億8,632万円	9億8,935万円	11億1,411万円	9億6,030万円	9億6,288万円
②歳出総額	8億1,244万円	9億2,398万円	10億4,289万円	8億6,782万円	8億7,911万円
③歳入歳出差引 (①-②)	7,388万円	6,538万円	7,121万円	9,248万円	8,377万円
④翌年度精算額 (交付・返還額)	△445万円	59万円	△1,089万円	△2,041万円	△1,023万円
⑤給付基金繰入額 (取崩額)	△4,276万円	△7,454万円	△5,388万円	0万円	0万円
⑥給付基金積立額	141万円	5,365万円	1億102万円	800万円	2,185万円
⑦実質単年度収支 (③~⑥合計-(前年の③+④))	△2,634万円	△2,436万円	4,149万円	1,975万円	2,332万円
⑧給付基金残高 (年度末)	1億38万円	7,948万円	1億2,662万円	1億3,462万円	1億5,647万円

※表示単位四捨五入のため、金額の収支などが一致しない場合があります。

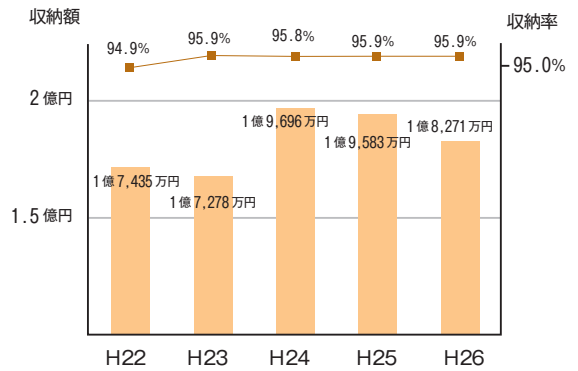
2. 国民健康保険税の収入状況

国民健康保険は、みなさんからの国民健康保険税で支えられています。加入者のみなさんが診療を受けたときの医療費の支払いにあてられています。

平成26年度の収納額は、被保険者数の減少や軽減措置が拡大されたことにより減少しています。

収納率（調定額に対する収納額の割合）は、前年度と同率の95.9%となっています。

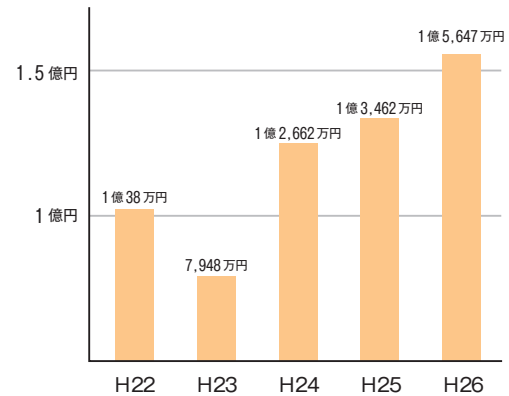
今後も国保制度の健全な運営を支えるため、国保税の期限内納付をお願いします。



3. 給付基金残高の推移

給付基金は、国民健康保険事業の安定的な運営のために積み立てをおこない、突発的な医療費の増加などが生じた場合に、歳入不足を一時的に補うためのものです。

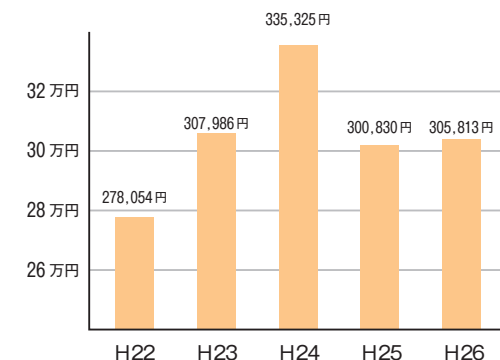
近年は、平成24年度の税率改定や25・26年度の医療費抑制の効果により、基金の取崩しをおこなわず積み立てができたことにより基金残高は、1億5,647万円になっています。



4. 1人あたりの医療費の推移

医療費は社会の高齢化や医療技術の進歩、生活習慣病などの慢性疾患の増加など、さまざまな理由で年々増加傾向にあり、この状況が続けば事業運営をさらに圧迫してしまうこととなります。

24年度をピークとし減少していますが、26年度は再び増加傾向となっています。今後も健康診断や各種検診を積極的に利用して病気の予防や早期治療を心掛け、毎日の生活に運動・食事・休養をバランスよく取り入れて、日頃からの健康管理と健康づくりに心がけましょう。



『医療費のお知らせ』をお届けしています

国民健康保険の加入世帯で、病院などで診療を受けられた世帯に『医療費のお知らせ』をお届けしています。

これは、国保加入の方が受診した医療機関や医療費の総額を確認していただくとともに、みなさんの健康管理に役立てていただくためお知らせしているものです。

健康づくりと健康管理として、日ごろから栄養・運動・休養をバランスよくとり、年に1回は特定健診（一日人間ドック・ミニドック）を受診して、病気の早期発見・早期治療に役立てることが大切です。

『ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ』をお届けしています

国民健康保険への加入者で、薬局等でお薬の処方を受けた方を対象に『ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ』をお届けしています。

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品と同等の効能効果があると国が認めた後発医薬品です。

このお知らせによって、ジェネリック医薬品に切り替えなければいけないということではありませんが、ジェネリック医薬品を利用することで、お薬代の家計負担が少なくなります。

ジェネリック医薬品を希望される場合は医師、薬剤師にご相談ください。

職場の健康保険加入に伴う国民健康保険の資格喪失手続きを忘れずに

国民健康保険に加入している方が職場の健康保険に加入した場合、自動的に国民健康保険の資格喪失となりますので、職場の健康保険証をお持ちのうえ、必ず役場にてお手続きください。手続きを行わない限り国保税が課税されることとなります。

◎持ち物：職場の健康保険に加入された全員分の職場の健康保険証と国民健康保険証、印鑑



■ 7月落成に向け工事順調 ～中央公民館改築工事現場見学会～

今年7月のオープンに向けて改築工事が進んでいる中央公民館の現場見学会が、1月10日に開かれました。この見学会には約50名の方が参加。工事担当者の案内で町産の西山杉を利用した木組みなどを見学し、地熱を利用した空調や太陽光発電など、新しい公民館の設備について説明を受けました。

町屋風の外観に装いを変え、図書館や大小のホール、調理室などを備えた新しい公民館は、7月上旬に落成式がおこなわれ、利用開始となる予定です。

■ 自由な発想で新しい農業を目指す ～新規就農研修生～

町の就農研修生受入協議会（OSINの会）では、今年4月から新たに5名の研修生を迎えることになりました。そのうち、群馬県出身の吉本美奈さんと、神奈川県出身の柏原千乃さん、太田さや香さんの3名の研修予定者が1月21日に役場を訪問しました。

柏原さんと太田さんは「すももや野菜の栽培に取り組む、おいしい農作物をつくって楽しく仕事をしたいです」と意気込みを語ってくれました。



■ 各地の町おこしの事例に学ぶ ～元気な町づくり推進会議 地域おこし研修会～

各地域の地域おこし協力隊員の活動事例を発表する「地域おこし研修会」が、1月29日に山里交流館で開催されました。この研修会は本町と6つの町村で構成される「元気なまちづくり推進会議」が主催し、今後の町おこしにつなげようとするものです。

この日は5つの町村の隊員がこれまでの活動内容を発表。本町からは、高橋里奈さんと野木桃子さんが着任してからのそれぞれの活動を説明し、佐々木隆馬さんが山里交流館での活動内容を紹介しました。

議会

town council

《第4回定例会》

平成27年大江町
議会第4回定例会
が12月3日から11
日までの会期で開
かれました。今定

例会では、平成26年度決算や今年度の各会計の補正予算、条例制定・改正案などが審議され、原案どおり可決・承認されました。
冒頭に渡邊町長から行政報告がありましたので紹介します。

行政報告

職員採用試験について

平成28年度採用予定職員については、9月20日に第1次試験、10月25日に第2次試験を実施しました。最終的に上級行政職1名を合格者とし、採用内定通知をおこなっています。

大江都市計画マスタープランの策定について

町の都市計画の指針である大江都市計画マスタープランについては、町の総合計画や県の区域マスタープランに合わせて見直しを進めてきました。県との意見調整やパブリック



平成27年10月1日現在の大江町の姿は、

人口 **8,478** 人
世帯数 **2,631** 世帯

速報結果

平成27年国勢調査

国勢調査
2015

平成27年10月1日現在でおこなわれた国勢調査は、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とした国の最も重要な統計調査です。

調査結果は、さまざまな法令にその利用が定められているほか、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など私たちの暮らしのために役立てられます。

●速報結果の概要

平成27年12月21日に山形県が発表した国勢調査の速報によると、大江町の平成27年10月1日現在の人口は8,478人、世帯数は2,631世帯となっています。これを前回おこなわれた平成22年調査結果の9,227人、2,691世帯と比較すると、人口は749人減少、世帯数は60世帯減少しました。率にすると人口は8.1%の減、世帯数は2.2%の減という結果です。人口は全町的に減少し、増減率は県内で21番目となっています。世帯数も、きらりタウン美郷への住宅建築などにより本郷地区がほぼ横ばいとなっていますが、七軒地区では大きく減少しています。

山形県全体の人口は112万2,957人で、平成22年調査より45,967人減少、減少率は3.9%となりました。

地区名	人口				世帯数			
	平成27年 総数	平成22年 総数	平成22年との比較		平成27年	平成22年	平成22年との比較	
			増減数	増減率			増減数	増減率
左沢地区	人 5,097	人 5,526	人 △429	% △7.8	世帯 1,563	世帯 1,596	世帯 △33	% △2.1
本郷地区	3,102	3,341	△239	△7.2	944	945	△1	△0.1
七軒地区	279	360	△81	△22.5	124	150	△26	△17.3
合計	8,478	9,227	△749	△8.1	2,631	2,691	△60	△2.2

注) この速報値は、平成27年12月21日現在で集計したものであり、今後総務省統計局から公表される数値と異なる場合があります。

ク・コメントの実施、都市計画審議会への諮問を経て、第3次大江都市計画マスタープランとして策定しました。

藤田地区住宅団地の分譲状況について
11月1日より分譲受付を開始した藤田地区住宅団地については、12月1日時点で20区画のうち10区画の分譲者が決定しています。そのうち9名の方が、18歳未満のお子さんがいる子育て世代となっています。さらなる分譲促進に向け、今後も各種PR活動を積極的に進めていきます。

補正予算

平成27年度大江町一般会計の補正予算は、歳入歳出にそれぞれ2810万円を追加し、総額56億6210万円となりました。

《第1回臨時会》

平成28年第1回大江町議会臨時会が、1月27日に開かれました。
灯油等購入費助成事業にかかる補正予算と、中央公民館と図書館の備品購入についての専決処分が承認されました。



1/10 豊作を祈る伝統の小正月行事

小正月の行事のひとつである雪中田植えが、1月10日に歴史民俗資料館でおこなわれました。雪中田植えは1月15日を中心とした小正月の時期に、雪の中で田植えの動作をまねることで豊作を祈願する行事です。この日は地域おこし協力隊員の高橋里奈さんと野木桃子さんが、笠とみのを身にまわってわらと豆がらの束を雪の上に植えていきました。

その後、田楽や青苧餅の雑煮などの小正月料理が資料館内で振る舞われ、参加者は伝統的な季節の味を楽しみました。



1/13 だんごの実がいっぱいになったよ

だんごや色紙で木の枝を飾る「だんご木飾り」が、1月13日にわかば保育園でおこなわれました。この行事は、木の実に見立てただんごを木の枝にさして豊作を祈る小正月の伝統行事になって、毎年1月中旬に実施されています。

この日はわかば保育園の園児たちや、子育て支援センターを利用する子どもたちと保護者の皆さんが参加。枝の先にだんごをさしたり、紙で作った大判小判などをくくりつけたり、夢中で飾りつけをしていました。やがて枝いっぱいのだんごの実をつけた木が、園内をにぎやかに彩りました。



1/29~31 雪の祭典で町をPR

雪をテーマとした祭典「やまがた雪フェスティバル」が、1月29日から3日間にわたって寒河江市の最上川ふるさと運動公園で開催されました。このイベントは県および寒河江市と西村山4町が今年初めて企画したもので、県内各地の雪まつりのオープニングイベントとなるものです。

会場内のブースでは、本町からもやまがた地鶏やトマト鍋、チゲ鍋などを出店。ステージでは大江アスリートクラブと正調最上川舟唄保存会が発表をおこない、会場を訪れた大勢の来場者に町の魅力をアピールしました。



12/21 今日からみんなサポーター

子どもたちに認知症について知ってもらうための「認知症サポーター小学生養成講座」が、12月21日に本郷東小学校で開かれました。この講座は5・6年生の児童が対象で、山形市の介護事業所管理者の高橋明美さんを講師に迎え、認知症の原因や症状の悪化を防ぐ方法などを学びました。

講座終了後、認知症の方を支える「認知症サポーター」の目印であるオレンジリングが、受講した児童全員に配付されました。児童からは「今日教わったことを生かして、認知症の人を助けてあげたいです」といった感想が寄せられました。

1/21 安全な雪下ろしの方法を学ぶ

冬本番を迎えるにあたり、事故に遭わないための安全な雪下ろしの方法を学ぶ講習会が、1月21日に交流ステーションでおこなわれました。講師は新潟県の長岡技術科学大学の上村靖司教授と、尾花沢市でボランティアとして雪下ろしの指導をおこなっている二藤部久三さん。参加者は雪下ろしをする際の危険な場所や、安全帯や命綱などの使い方について

解説を受けました。その後、駅前駐輪場の屋根に上り、安全な装備での雪下ろし作業を実際に体験しました。

参加者は「急な屋根だと特に危険を感じるので、今日学んだことをこれから応用していきたいです」と話していました。



1/18 おしゃれで丈夫な伝統工芸

教育委員会が開催しているカルチャー教室のひとつとして、「一閑張り体験教室」が1月18日に東地区公民館で開かれました。一閑張りとは、竹や木のかごに和紙をのりで貼り重ね、その上から柿渋を塗った工芸品です。古くなった農具などを再利用するために、かつては農閑期にさかんに作られていました。

初めての開催となったこの教室には、町内外から12名の方が参加。多くの方が初めての体験でしたが、「楽しいね」などと話しながら、ざるに和紙を張りつけていく作業に没頭していました。



1/31 声を合わせていちに！いちに！

第23回町民つなひき大会が1月31日に体育センターで開催され、12チーム160名が参加しました。各チームとも呼吸を合わせて力いっぱい綱を引き合い、応援の声にも熱が入っていました。

大会結果

【男子の部】

優勝／本郷東
準優勝／本郷西
第3位／本郷南（美郷）
" / T C ・ P ぶる

【男女混合の部】

優勝／藤田
準優勝／本郷東
第3位／左沢北

1/23 亘理町の仲間と力を合わせて

自然を通して友情を深める「ドキドキ!! 自然体験塾」が、1月23日に朝日少年自然の家で開催されました。この日は町内の小学生のほか、宮城県亘理町の長瀬小学校の児童26名も参加しました。

午前中はグループに分かれて手打ちうどん作りを体験。両町の小学生が協力してこねたうどんを、天ぷらうどんや山形名物の「ひっぱりうどん」に

して味わいました。

午後からはタイヤチューブに乗って雪の斜面を滑る「チューブすべり」にチャレンジ。長瀬小の子どもたちは、亘理町ではあまり見られない雪景色に大喜びし、スピードに乗って何度も坂を滑り降りていました。



昔のことになったのかどつつか、「東日本大震災」。被害に遭われた方から聞いた言葉が、頭に凍りついたままだ。「何も、なんにも悪いことなどひとつもしていないのに、こんな目に……」、防げると思ってたって来たことが木っ端みじん、

「人間の知を超えた非情な地震と天津波であった。「東日本大震災」に動いた日本人の「被災地支援」の行動には「他人に何かを支援する大変さより、支援される方々の数倍の苦しきがある。やってやる方より、やってもらう方が大変なのだ」という日本人の美学があった。世界中の人々から「支援行動」に高い評価が寄せられた所以であろう。思えば震災時に大江町民は心をひとつにして、被災者の支援に動いてくださいました。ある方は、1ヶ月の間仙台に通い続け、床下に潜り、玉の汗をかきながら、泥にまみれて……。にもかかわらず、「やってもらう方が大変なのだ」と、淡々と語っただけだった。2月8日、宮城県亘理町と大江町の「災害時応援協定」の調印が行われた。あつては困るし、起きてはほしくないが、想定外の災害時には、町対町で「応援しましょう」という内容で、本当に「心強い協定」だ。今回の協定は、大江町誕生以来、町対町としては、初めてのものです。ありますが、ここに至るまでの亘理町齋藤町長さん、議員各位、職員の方々、町民各位のご厚情に心から感謝の意を表したいものであります。未来永劫「二つの町の「友達ちから」が、「あかるく広がり、強くつながる」よう、温めて育てていただきますよう大江町民一同で努力し続けたいものであります。「まさかの友を、真の友に」。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.29

内町・横町通りに沿った中央通り商店街の一角に、薬の高取藻江堂があります。高取家がこの地に薬局を開設したのは大正6年で、店名の「藻江」は最上川の呼称からとったと伝わっています。

通りに面した店舗部分は店蔵で、元々は土蔵だった店舗の外壁部分だけを改装した、いわゆる看板建築の好例といえるものでした。昭和11年の大火の直後に改修されたと伝えられ、現在は正面部分が新しくなっていますが、側面から土蔵の妻部分が確認でき、古くからの構造が残されていることがわかります。

店、主屋に続いて一番奥に土蔵が位置しています。切妻の土蔵造りで昭和29年に移築されたと推定されており、その時代以前の伝統的な形式を伝えるものと考えられています。短冊地割の中で南北に細長く配置された建物が、城下町の土地利用と舟運による発展を経て展開した左沢町の暮らしを表しています。

そうこうどう 薬の高取藻江堂



● 短歌 ●

歳重ね健康管理念頭に悠々自適余生過ごさん

菅井 妙子

現世の社会に生きる晩年は真心尽くし永久の平和に

松田 馥

胸痛む箱根の山を走り来したすき手にしも継ぐ人見えす

佐竹磨砂湖

雪の夜寝床で思ふ幼き日囲炉裏囲みし父母や兄弟

山家 重之

老いていま介護受く身の近ければ美布縫う手にも真心こもる

菊地つねよ

山あひの諏訪の社に村人は分けへだてなく俳諧に思ひを

佐竹 與鼓

五年間の癌とのたたかい卒業すお医者看護師かぞくに感謝

斎藤 徳治

● 俳句 ●

初詣無病息災子と祈願

菅井 妙子

初夢に古里を見て目覚めけり

松田 馥

降る雪を見つめて空に昇るかな

今井 茂樹

一家族全員揃いし初日の出

鴨田富士夫

老いてなほ未知茫茫の初日記

山家 重之

門札者雪をはらいて一礼す

阿部 一風

年女夢もありけり冬薔薇

安藤由美子

寒雷や目覚めてモーツァルト聞く

金子脩一郎

春近し結婚式の招待状

清野今日子

目印はおでんの暖簾クラス会

熊谷 勉

降れば降る降らねば降らぬ雪談議

舟山 三男

日めくりの捲られぬまま三ヶ日

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

短期大学を卒業後、昨年4月から朝日町の介護施設で調理を担当している林さん。50人以上の利用者の食事を1人で担当し、それぞれの方に合わせて味付けや硬さなどを変えないといけないので、始めのうちは苦労したそうです。

「利用者の方の顔と名前をだんだんと覚えて、好みや苦手なものもわかるようになってきました。直接声をかけていただくと、励みになりますね」

林さんは中学、高校と吹奏楽部でサクソフスを担当し、短大でもジャズ研究会に入って演奏を楽しんでいたそうです。就職してからは楽器に触れる機会もなかなかないそうですが、「仕事も少しずつ慣れて来たので、そろそろ楽器もやってみたいですね」と意欲を見せていました。

目標は、管理栄養士になって地域の皆さんの健康づくりに貢献すること。

「そのためにも、調理の現場をしっかりと学びたいです」と話してくれました。

林 桃子さん (21歳・7区)

みんなの健康づくりを支えたい

地域おこし協力隊通信

No.19



早いもので、大江町に移住してから1年が経ちました。昨年は雪の多い年でした。半日かけて雪かきした場所が1回の落雪で元通りになって呆然と立ち尽くし、ストーブをつけても室温が5℃より上がらないので家中のガラス窓に

プチプチを貼り、区長さん宅から帰る二日酔いの朝は凍結した路面で10回も転び……カルチャーショックの連続が、まるで昨日のこのようです。

今年は記録的に雪の少ない年だそうですが、柳川もようやく積雪が増えてきました。慣れたように思っていた雪かきですが、しばらくぶりにやってみるとやっぱり重労働です。ある日、仕事を終えて家に着くと、あれ？ 玄関の雪がなくなっている。子連れので妻がやったにしているはキレイすぎる。近所の方が除雪機で飛ばしてくれたのでした。本当にありがたいことです。農家の方から果物を頂いたり、近所の方から漬物やキノコをわけていただいたり、怪我をして病院に連れて行ってもらったり……。私は地域に助けられながら生きているのだな、と実感する毎日です。さて、じゃあ自分は地域のために何ができるのか？

地域おこし協力隊 佐々木隆馬



↑自宅です。そろそろ1回目の雪下ろしをしないと……



←2歳の息子も少し雪に慣れてきました。な。ゆきふる(笑)雪だるま(笑)に話しかけています。

お知らせ Information

灯油などの購入費を 助成しています

灯油などの燃料確保が困難となっている世帯の冬季の経済的負担を軽減するため、今年度も暖房用燃料費の一部を助成しています。

◆対象世帯／町民税非課税で次のいずれかに該当する世帯

- ① 65歳以上の高齢者のみの世帯
- ② ひとり親などで18歳未満の児童を養育している世帯
- ③ 重度の障害者がいる世帯

◆助成限度額／5千円

◆申請期限／3月31日(木)

◆必要な書類／大江町灯油等購入費助成事業支援申請書、平成27年12月1日以降に灯油を購入した際の領収書、印鑑、振込先口座の通帳の写し、障害者世帯の場合は手帳等の写し

臨時介護支援専門員を 募集します

◆資格／介護支援専門員

◆募集人員／若干名

◆業務内容／ケアマネジメント業務・相談業務など地域包括支援センター業務全般

◆勤務形態／9時～16時45分(7時間45分)

◆勤務日／月～金(週5日)

◆賃金／(平成27年度参考)1日当たり7750円 別途通勤手当有

◆その他／社会保険および雇用保険に加入します。

◆申込期限／3月18日(金)

◆申込方法／履歴書(任意)に資格証明書(写し)を添えて健康福祉課へ提出してください。書類選考後、面接日などを連絡します。

※お問い合わせは、地域包括支援センター ☎(62) 2114まで

大江町ふるさと奨学生を 募集します

町では平成23年度より「大江町ふるさと奨学金基金」を創設し、高校生・大学生等の就学を支援するため、無利子で奨学金を貸与しています。左記により平成28年度の奨学生を募集しますので、貸与を希望する方(奨学生)はご応募ください。

◆奨学金貸与月額及び募集人員／

○高等学校、高等専門学校…年額20

万円以内 10名以内(うち新入生5名以内)

○大学、短期大学、専修学校(専門課程)…年額50万円以内 20名以内(うち新入生10名以内)

※奨学生は、毎年の申請により「奨学生審査委員会」の審査を経て決定します。

◆奨学生の資格／町内に住所を有する者などの子弟で、学習活動、その他生活全般の態度、行動が奨学生にふさわしく、将来良識ある社会人としての活動が見込める者で、左記の所得基準額以下であること。

○所得基準 ①給与所得の世帯…3人 840万円、4人 900万円、5人 920万円②給与所得以外の世帯…3人 420万円、4人 480万円、5人 520万円

※世帯人員が5人を超える場合には、一人増すごとに30万円を加算

※「特別の事情」がある場合は、右記所得より一定金額を控除した後の所得によります。

◆奨学金返還など／卒業後6カ月を経過した月の翌月から、貸与を受けた奨学金額により月賦または年賦(繰上返済も可)により返還していただきます。

▼応募方法／「奨学金貸与申請書」

善意いただきました



▲秋まつりで大好評の焼きそばとナポリタン

このたび、マルハニチロ株式会社 社大江工場より、大江の秋まつり出店の際の売上金10万6000円を町へ寄付していただきました。寄付金は、今後の町づくりのために有効に活用させていただきます。

(大江町教育委員会備付または町ホームページに掲載)に必要な事項を記載し、添付書類と合わせて4月1日から4月28日までにお申し込みください。

※お問い合わせは、教育文化課学校教育係 ☎(62) 2270まで

おおえ国際交流協会

世界の料理教室
「おいしいタイ料理」
のご案内



グリーンカレーやタイ風サラダなど、みんなで楽しくタイ料理を作って食べましょう。

- ◆日時/2月28日(日) 10時~13時
- ◆場所/大江町保健センター
- ◆講師/大江町地域おこし協力隊 野木桃子
- ◆定員/20名
- ◆参加費/大人800円 子ども500円
未就学児無料 会員無料

※お申込み・お問合せは、おおえ国際交流協会事務局(政策推進課内) ☎62-2118まで

高齢者の住まいトラブル
110番を開催します

- ◆日時/2月15日(月)10時~16時
- ◆内容/サービスタク付き高齢者住宅、有料老人ホーム等高齢者の住まいにおける契約、解約、退去、サービスタク提供、入居一時金、保証人に関する問題についての電話相談会
- ◆相談方法/開催時間内に、☎0570-073-165までお電話ください(予約は不要です)。
- ◆費用/ご相談は無料です。別途通話料がかかります。

※お問い合わせは、山形県弁護士会 ☎023(622)2234まで

首都圏の大学などへ進学された
お子さんがいる保護者の皆さまへ

- 「ふるさと山形「寒河江西村山」企業ガイダンス in 新宿」が開催されますので、首都圏に住むお子さんへぜひお伝えください。
- ◆日時/3月11日(金)13時~15時(12時半受付開始)
- ◆場所/東京新卒応援ハローワーク内「出会いのフロア」(東京都新宿区西新宿)

◆対象者/

- 平成29年3月大学・短大・専門学校等卒業予定者
- 平成28年3月大学・短大・専門学校等卒業者
- UIJターン移住希望者
- ◆内容/個別企業ブースでの相談、寒河江西村山1市4町の定住支援の相談など
- ※お問い合わせは、ハローワーク寒河江 ☎(86)4221まで

ららんす大江職員募集

- ◆職種/臨時介護員、臨時生活支援員
- ◆人員/それぞれ若干名
- ◆資格/特に必要ありません。
- ◆試験/面接
- ※勤務開始日、勤務時間帯などは相談に応じます。
- ※お申し込み・お問い合わせは、ららんす大江事務局 ☎(83)4800まで

メール配信サービスで町の情報をお届けしています。

ご登録はこちらから↓



編集 後記

より便利に、より快適に、より効率的に。暮らしを豊かにする新しい製品が日々登場し続ける中、時代の波に飲まれるように姿を消し、忘れ去られていくものも枚挙に暇がありません。一方で、時代が進んで再び価値を見直されるようになったものも存在します。例えば、カセットテープ。音楽を手軽に聴いたり録音したりできるため、かつてはお馴染みのメディアでしたが、CDやダウンロード販売の普及によって一時期はほとんど見かけなくなっていました。しかし近年、大容量のデータを低コストで保存できる媒体として、再び注目を集めているそうです。多くの人々によって評価されるものは、その時代の価値観によって大きく変化しますが、それは見る角度によって変わったように思えるだけで、実はどんなものでも本質的な価値は変わらないのかもしれない。囃子屋台や青苔など、一度失われたものを蘇らせた方々のお話を聞くと、そんなふうに思えてきます。デジタル時計が普及してもアナログ時計が無くならないように、今に残る町の文化や景観も、新しいものと共存しながらいつまでもあり続けてほしいものです。(伊藤智治)

思い出の

まいぞうひん

My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲「WE 300B」真空管アンプ



▲レコードプレーヤー

▼これまでに集めたレコードの一部



大好きなW.A.モーツァルトの曲を聴くために、このシステムを採用しました。「WE 300B」の真空管を使用したアンプをパワーアンプで、「ONLIFE U22」をコントロールアンプとして、スピーカーは「JBL」で鳴らしています。やわらかく、澄んだ音を再現しています。

40年前、CDはありませんでしたので、レコードから自分の理想とする音を求め、気がついたら集めたレコードが3,000枚になっていました。モーツァルト時代の楽器を使用し、昔の演奏を再現したレコードもいくつかあります。現代の楽器とは響きがかなり違い、当時をしるばせませす。

ジャンルを問わないでレコード観賞を楽しんでいます。現在は、レコードを原盤としてハイレゾ化（高音質デジタル音源化）に取り組んでいます。

(望山 小林 薫)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

12月16日～1月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
顔好	鈴木 璃空	男	雄一郎・志歩
美郷	鈴木 悠莉	女	洋喜・由希
蛭水	村上紗由稀	女	和正・祥子
9区	高子 紬	女	紀彦・紫衣

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(塩野平)	渡邊 貢
(小見)	伊藤 彩
(7区)	三宅 真弘
(天童市)	武田 友香
(蛭水)	小野 和憲
(蛭水)	安 今玉
(山形市)	斎藤 豊
(伏熊)	佐竹美智子

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
4区	鴨田まさよ	(89)
6区	駒林喜知三郎	(90)
13区	堀 のぶ	(88)
9区	佐竹 勝藏	(80)
藤田	鈴木 良教	(82)
9区	戸田庄一郎	(78)
下モ原	齋藤 豊正	(91)
深沢	菊地 貞孔	(88)
久保	渡邊さだ子	(89)
堂屋敷	阿部 キヨ	(93)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,699人(-18)
男	4,289人(-22)
女	4,410人(+4)
世帯数	2,911戸(-10)

平成28年2月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。